

発泡スチロール板で浮き出し文字

村田憲治（山県高校）

発泡スチロール板の上に、簡単に〈浮き出し文字〉を作る方法を紹介します。文化祭での看板づくり、教室掲示用などに応用範囲は無量大？

まずはワープロでデカイ文字をつくります

まずは、ワープロで看板にしたい文字列をつくります。フォントは**太めのゴシック体**がお勧め。ポイント数は必要な大きさを指定（一太郎なら500ポイントまで可能）します。もっと大きな文字が必要ならコピー機で拡大するなり、OHPシートにワープロ文字を打ち出して、模造紙（岐阜弁で言えば「^{ビシ}B紙」）に拡大投影して鉛筆で写し取るなどすればOK。

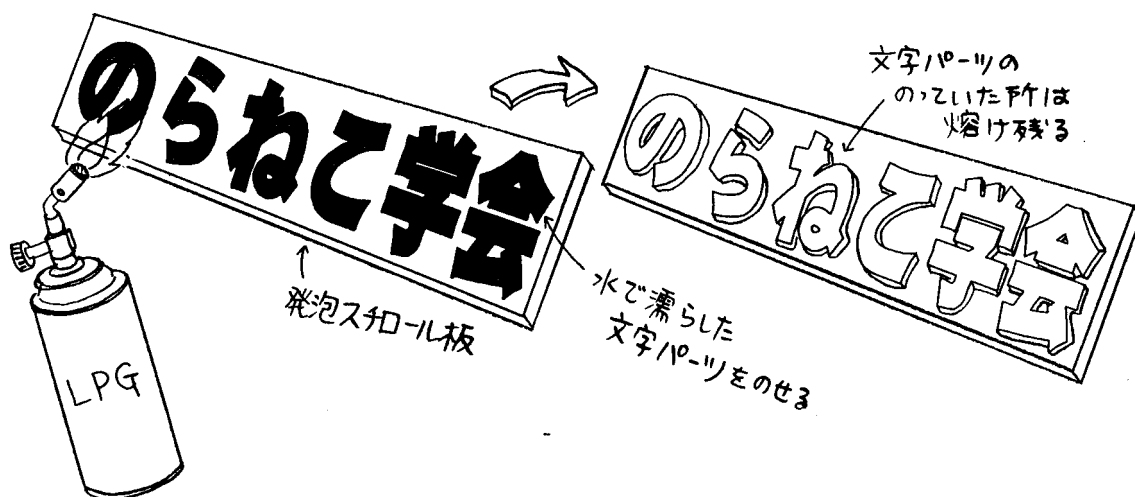
次に、この打ち出した文字を文字のエッジに沿ってカッターナイフできれいに切り取ります。でも、例えば「だ」なんていう文字はカッターナイフで切り取るとバラバラになってしまいますが、どのパーツが「だ」のものか分かるように、切り取った文字のパーツにメモをしておくといいかもしれません。そして、切り取った文字のパーツは、水の中に沈めて十分濡らしておきます。

バーナーで発泡スチロールを溶かします

十分濡らした文字のパーツを発泡スチロール板の上に並べて置き、文字以外のところに落ちた水滴は、よくふき取っておきます。

そして、バーナー（カセットこんろ用のガスボンベにバーナーの口をつけたもの。キャンプ用品？）の炎をそ〜っと近づけ、発泡スチロール板の表面を溶かしていきます。水で濡らした文字パーツのところは温度が上がらず溶け残りません。炎を近づけすぎると、発泡スチロール板に火がついたり文字パーツを吹き飛ばしてしまうことがあるので注意してください。様子を見ながらそ〜っとやるのがコツです。

周囲が溶けて、文字が浮き上がってきたら文字パーツを取り去ります。この頃には、文字パーツも乾燥していますから、板を傾ければパラリと落ちるでしょう。



ポスターカラーで色を塗って完成

熔け残った文字は、ひよっとするとエッジのキレが悪く、隷書体みたいになっているかもしれません。文字パーツが乾燥して縁の方がまくれあがったせいです。

これはこれで〈味〉があると思うのですが、どうしてもイヤな人は、ワープロで打ち出した文字を糊でボール紙に貼り付けてからカッターナイフで切り取ったものを水に浸して使うとキレのいいゴシック体の浮き出し文字が作れます。

最後に、ポスターカラーで彩色すれば完成です。熔けた発泡スチロールの表面は、荒削りしたコンクリートのような風合いを持っていますから、うまく彩色すればとても発泡スチロール製とは思えぬ質感が出せます。

カッターナイフで文字を切り出す作業が面倒ですが、一度作った文字パーツは何度も利用可能ですから同じものを大量に作ることもできます。ぜひお試しください。(^^)